

～ 目 次 ～

第1部 決算の概要

1	はじめに	1
2	会計とは？	1
3	普通会計とは？	3
4	予算と決算	4
5	一般会計の決算	6
	(1) どんな収入があったの？	7
	(2) どんな経費に使ったの？	10
	(3) どんな目的に使ったの？	11
	(4) 一般会計決算のまとめ	16
6	特別会計の決算	17
	(1) 国民健康保険会計	17
	(2) 母子寡婦福祉資金貸付事業会計	18
	(3) 介護保険会計	18
	(4) 老人保健医療会計	18
	(5) 後期高齢者医療会計	19
	(6) 桃尾墓園整備事業会計	19
	(7) 食肉センター会計	19
	(8) 農業集落排水事業会計	19
	(9) 産業振興資金会計	20
	(10) 食品工業団地用地会計	20
	(11) 競輪事業会計	20
	(12) 地下駐車場事業会計	21
	(13) 熊本駅西土地地区画整理事業会計	21
	(14) 熊本駅前東A地区市街地再開発事業会計	22
	(15) 植木中央土地地区画整理事業会計	21
	(16) 奨学金貸付事業会計	22
	(17) 特別会計決算のまとめ	23
7	一般・特別会計の決算（連結）	24

8	公営企業会計の決算	27
(1)	病院事業会計	27
(2)	水道事業会計	27
(3)	下水道事業会計	28
(4)	工業用水道事業会計	28
(5)	交通事業会計	28
9	財政健全化法	29
(1)	実質赤字比率	30
(2)	連結実質赤字比率	30
(3)	実質公債費比率	31
(4)	将来負担比率	31
(5)	資金不足比率	32

第2部 決算の分析

1	平成22年度決算	37
(1)	歳入・歳出決算の推移	37
(2)	決算収支の推移	38
(3)	歳入	39
①	歳入内訳の推移	39
②	市税の推移	40
③	市民一人当たりの税額の状況	42
④	地方交付税及び臨時財政対策債の推移	42
⑤	一般財源の動向	44
⑥	市民一人当たりの市税及び地方交付税の状況	45
⑦	市債借入額の推移	46
(4)	歳出	47
①	目的別歳出構成比の推移	47
②	性質別歳出内訳の推移	48
③	義務的経費の推移	49
④	市民一人当たりの義務的経費の状況	50
⑤	義務的経費及び一般財源の推移	51
⑥	普通建設事業の推移	53

2 財政指標	55
(1) 市債現在高及び公債費の推移	55
(2) 公債費比率、起債制限比率及び実質公債費比率の推移	56
(3) 市民一人当たりの市債現在高、公債費比率及び起債制限比率の状況	56
(4) 財政調整基金及び減債基金現在高の推移	58
(5) 市民一人当たりの財政調整基金及び減債基金現在高の状況	58
(6) 経常収支比率及び財政力指数の推移	59
(7) 経常収支比率及び財政力指数の状況	60
(8) 類似都市との比較	61

第3部 地方公会計の整備に基づく財務諸表

1 はじめに	67
(1) 公会計整備の背景	67
(2) 財務諸表とは	67
(3) 財務諸表の相関関係について	68
(4) 財務諸表作成に係る対象会計	68
2 普通会計における財務諸表	69
(1) 貸借対照表	69
(2) 行政コスト計算書	72
(3) 資金収支計算書	74
(4) 純資産変動計算書	76
3 連結財務諸表	77
(1) 連結貸借対照表	78
(2) 連結行政コスト計算書	80
(3) 連結資金収支計算書	82
(4) 連結純資産変動計算書	83
(5) 連結対象法人等明細表	84
4 熊本市の財務分析	86
(1) 資産形成度の分析	86
(2) 世代間公平性の分析	93
(3) 持続可能性(健全性)の分析	96
(4) 効率性の分析	99
(5) 弾力性の分析	106
(6) 自律性の分析	107
【資料編】	109
(1) 平成22年度決算関係	109
(2) 財政指標関係	114
(3) 財務諸表用語解説	117